

修士論文の和文要旨

大学院電気通信学研究科 博士前期課程 情報工学 専攻 学籍番号 0531013	
氏 名	高嶋 活輝
論 文 題 目	Web 検索とその手順を記述するための言語に関する研究
<p>要 旨</p> <p>現在、我々が生活する上で Web 上から役立つ情報を得られることは少なくない。しかしインターネットの一般化と Weblog 等による情報発信の普及に伴い、Web 上で情報が氾濫し Web 空間をクロールした結果のデータベースと検索エンジンを以ってしても、必要な情報を素早く的確に得ることが困難になってきている。検索条件を緩めれば多くのページにヒットしてしまい、きつくすれば必要なページを逃がしてしまうが、多くの場合、ユーザは緩めの検索条件でヒットした膨大なページから先を探索しなければならない。探索の際ユーザはリンクをたどる、内容を検討する、リンクを戻るといった事を繰り返し行い、探索の手法を身に付けていく。しかし、ユーザが探索手法を身に付けたとしても、現状それを共有・伝播・保存する手段は自然言語による伝聞・メモに依っている。</p> <p>既存の Web 検索エンジンではインデックスを参照し、検索を行う。そのためクロール後のページの更新が検索結果に反映されない。さらに HTML 文書の構造を加味した検索指示ができないなど、検索指示の限界も存在する。</p> <p>そこで、本論文ではユーザが Web ページを探索する際に、その手順を記述することにより、探索方法の共有と保存を可能とするスクリプト言語 spi を提案する。spi は、探索時に起点となるページからリンクをたどることによる文書の取得を行うため、その時点での最新の情報を得ることが可能である。また、spi はユーザが Web 探索を行う際の単純作業の効率化および通常の Web 検索やブラウジングでは難しい部分の取得や分析、HTML 構造の分析を行うことにより、Web 検索後の Web ページの探索を支援する。</p> <p>本論文では、spi が既存言語と比較し簡易かつ理解が容易な記述により、リンクをたどることでの文書の取得、HTML 文書の構造解析による絞込み、文書中の文字列検索などが可能であることを示した。また、spi を用いた探索の例を示し spi の有用性を示した。</p>	

(大学院電気通信学研究科)